

2026
4月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第260号-①【基準日 2026年3月31日】



🌸 社長メッセージ



不確実な世界情勢の中でも

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので今年も4月になり新年度入りしましたが、いかがお過ごしでしょうか？桜も開花し気温も暖かくなってきましたが、季節の変わり目なので体調を崩されないようにご自愛ください。

さて、先月の世界のマーケットですが、米イスラエルによるイラン攻撃によって中東湾岸全域での緊張と地政学リスクが高まりリスク回避の売りが優勢となる中で、イラン情勢の早期収束期待と長期化懸念が交錯し、原油価格高騰と供給不足から世界経済減速、企業業績の悪化懸念から株式市場はジェットコースターのように日々乱高下する相場展開となり、総じて大きく下落する1ヶ月となりました。特に、先月大きく上昇していた韓国株が大きく下落するとともに、年初来で2割近く上昇していた金（ゴールド）も米ドル高、米金利上昇、利益確定の換金売りの影響から急落し、11%超下落した1ヶ月となりました。2月に史上最高値を更新していた日本株についても、日経平均株価が13.2%の下落となり大きく調整しました。

一方、米国株はエネルギーの純輸出国であり経済への悪影響が限定的とみられたことで、他の市場に比べて株価の下落率は相対的に低く抑えられました。為替相場については、原油価格高騰に伴い米ドルが買われて一時160円台まで円安が進みましたが、政府の為替介入への警戒感から158円台に戻して月末を迎えました。

そのような中でありがとうファンドは月間で-8.5%の下落となりました。投資先ファンドすべて下落しましたが、特に先月好調なパフォーマンスだった日本株ファンドや新興国株ファンド、年初来大きく上昇していた金ETFが大きく下落しました。

今後の見通しですが、米イスラエルとイランの戦争によって中東湾岸全域での緊張と地政学リスクが高まっているだけでなく、ホルムズ海峡閉鎖の影響による原油価格高騰と供給制約によって、世界経済及び企業業績の不確実性が高まっています。

戦争の早期停戦、終結が望まれています。先行きは不確実で予断を許さない状況が続いていますので、ボラティリティの高い相場展開がしばらく続くと思われれます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

もしホルムズ海峡閉鎖がこのまま長期化すれば、世界経済の実体経済に与える影響は深刻で第3次オイルショックが懸念されており、特に中東原油の依存度の高い日本を含めたアジア各国においては原油価格の高騰と供給制約によって、製造、建設、物流、電気・ガス供給、医療提供、農業生産などあらゆる分野に悪影響が出て、私達の日常生活が成り立たなくなることが懸念されており、対策として需要抑制に動いている国も出て来ています。

この状況が長く続けば、物価上昇と景気後退が同時に起こるスタグフレーションに陥る可能性も少なくないでしょう。

そのような中で、日本においてはイラン情勢が緊迫化している中、エネルギー安全保障としての原油やLNGの代替調達先の確保と調達先の分散、外交・安全保障としての防衛力強化、食料安全保障としての食料自給率向上などに、まずは早急に取り組んでいくことが喫緊の課題です。その上で、積極財政による日本成長戦略や物価高対策、消費税減税、社会保障改革、移民と外国人労働者問題、少子化対策など、山積みの国内課題にどう向き合っていくのか、高市政権は非常に難しい舵取りを迫られています。



そのような中で、ありがとうファンドでは、引き続き様々な国・地域の価値ある企業に国際分散投資をしてリスクを分散しながら、長期投資で世界経済と企業の成長の恩恵を享受するとともに、金(ゴールド)への分散投資を継続することでダウンサイドリスクを抑制しながら資産の長期的な成長を目指して参ります。

金(ゴールド)については、2025年1年間で約60%近く上昇し、年初からも2割近く上昇したところから足元短期的に大きく調整してボラティリティが大きくなっていますが、米ドルの基軸通貨としての信認が低下する中、中長期的な金(ゴールド)の見通しは変わっていないので保有を継続していく予定です。

不確実な世界情勢の中でも

新年度に入り、ご自身やご家族が進学や就職・転職などで新生活を始められるという方も少なくないと思います。

この機会に新たに資産運用を始めてみようと考えている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。一方で、イラン情勢の先行きが見通せない不確実な世界情勢の中、今始めてもいいのか、少し待った方が良いのではないかとタイミングを気にされて初めの一步を踏み出せない方もいるのではないかと思います。

いつの時代も先行きは不透明なことの方が少なくないので、将来に向けた長期の資産運用ということであれば、10年20年30年後の目標を見据えて、足元の世界情勢が不確実であったとしてもあまり気にすることなく、目標に向かってまずは余裕資金の範囲内で少額からスタートしてみたいか、そして、少額からスタートした資産運用を長く継続していくことがとても大切です。

また、資産運用を継続していくためには自分の目的・目標を明確にしておくことが大事になってきます。既に資産運用をされている方もこの機会にご自身の目的・目標を思い出して再確認してみたいか、いかがでしょうか。

弊社ではお客様の資産運用の目的・目標の達成に向けて、これからも一緒に伴走していきたいと考えておりますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです。

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていきながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

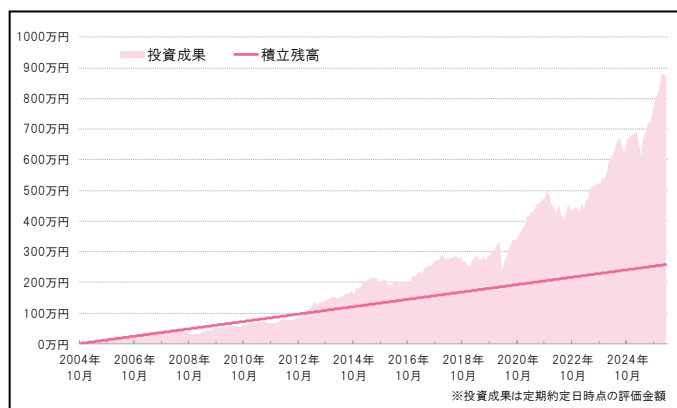
期間	平均取得単価	損益
1年	41,080円	+8.2%
3年	35,060円	+26.7%
5年	30,803円	+44.2%
10年	22,664円	+96.0%
初回(2004年10月)から	13,871円	+220.3%

②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場が良い時も悪い時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



**タイミングを見計らうのではなく、
時間を味方につけていきましょう！**

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、**時間の分散が効果的**です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価が平均化されることで、分散の効果が得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	12万9787円
3年	36万円	45万6208円
5年	60万円	86万5447円
10年	120万円	235万2445円
初回(2004年10月)から	258万円	826万3730円

2026年3月31日現在(基準価額:44,430円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

🌸 セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで(<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
ありがとうファンド 第22期半期運用報告会	4月12日 (日)	仙台	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第22期半期運用報告会	4月18日 (土)	名古屋	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第22期半期運用報告会	4月25日 (土)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第22期半期運用報告会	4月26日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

🌸 住所変更手続きのお願い

お引っ越しをされてご住所が変わった場合は、書面でのお手続きが必要となります。

弊社から変更用紙をお送りいたしますので、ご記入・ご捺印のうえ、新しい住所が確認できるマイナンバー確認書類と本人確認書類を添付してご返送ください。

尚、お急ぎの場合は、弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。

変更用紙のご請求・ダウンロードは、こちら(<https://www.39asset.co.jp/guide/change/>)をご覧ください。

🌸 「お友達紹介プログラム」を開始しました！この機会にお友達に紹介してみませんか？

すでに口座をお持ちのお客さまがお友達をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのお友達でありがとう投信の口座開設に興味をお持ちのかたがおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/>)をご覧ください。

お友達紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の
新規口座開設+定期積立を
3ヶ月継続していただくことで
“紹介したお客さま”と“紹介を受けた方”に
感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈！

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。

【2026年4月改正】企業型DC「マッチング拠出の制限撤廃」について

大企業を中心に多くの企業で導入が進んでいる確定拠出年金。企業型DC、iDeCoといった確定拠出年金の制度が、2026年から段階的に改正されます。2026年4月より企業型DCの「マッチング拠出の制限」が撤廃され、さらに2027年には企業型DC、iDeCoの拠出限度額が拡充されます。今回は、「企業型DCのマッチング拠出の制限撤廃」について改正のポイントや注意点などを紹介します。



企業型DC(企業型確定拠出年金)とは？

企業型DCは、企業が掛金を拠出し、加入者(社員)が自分で年金資産を運用する制度です。企業が費用を負担し、運用次第で受取額が変動します。原則60歳まで引き出せず、所得税・住民税の節税メリットがあります。

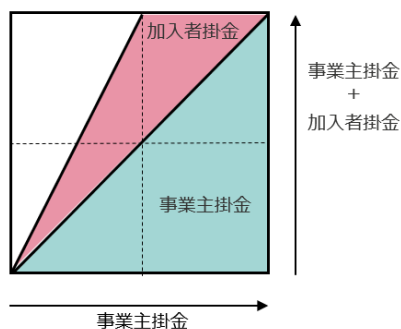
マッチング拠出とは？

企業が拠出する掛金に加えて、加入者本人が給与から任意で掛金を上乗せできる仕組みです。この上乗せ分は全額所得控除となるため、節税効果があります。

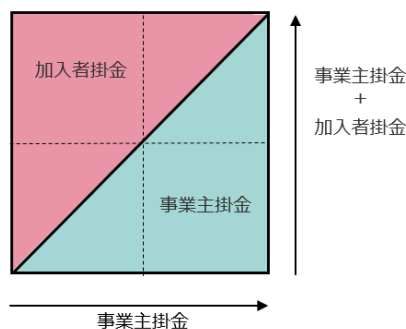
企業型DCのマッチング拠出の加入者掛金額の制限撤廃(2026年4月1日施行の制度改正)

マッチング拠出は、これまで「加入者の掛金額は、企業の掛金額を超えてはならない」という制限が設けられていました。2026年4月1日よりこの制限が撤廃され、企業の掛金額に関係なく、加入者が拠出限度枠を最大限活用できるようになります。

【改正前】加入者掛金は事業主掛金を超えられない制限がありました。



【改正後】事業主掛金の額によらずに、加入者がそれぞれの状況に応じ拠出限度額の枠を活用し老後の資産所得の確保が可能になりました。

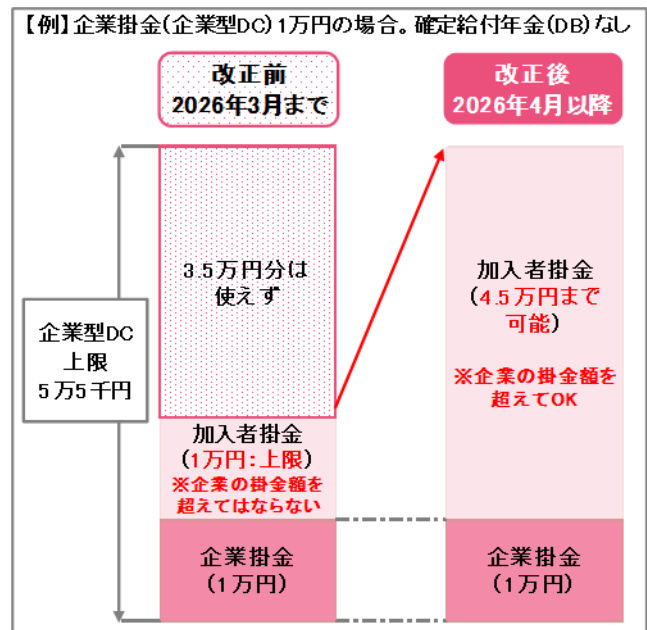


出典:厚生労働省「2025年の制度改正◇企業型DCの拠出限度額の拡充(マッチング拠出における加入者掛金の額の制限撤廃)(2026年4月1日施行予定)」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/nenkin/nenkin/kyoshutsu/2025kaisei.html>

改正後、どう変わる？

例えば、改正前は企業が月額 1 万円を拠出しているなら、加入者の上限も 1 万円で、現在の企業型 DC の拠出限度額、月 5 万 5,000 円のうち 3 万 5,000 円は使えませんでした。改正後は拠出限度額の範囲内で最大 4 万 5,000 円まで追加拠出が可能になります。

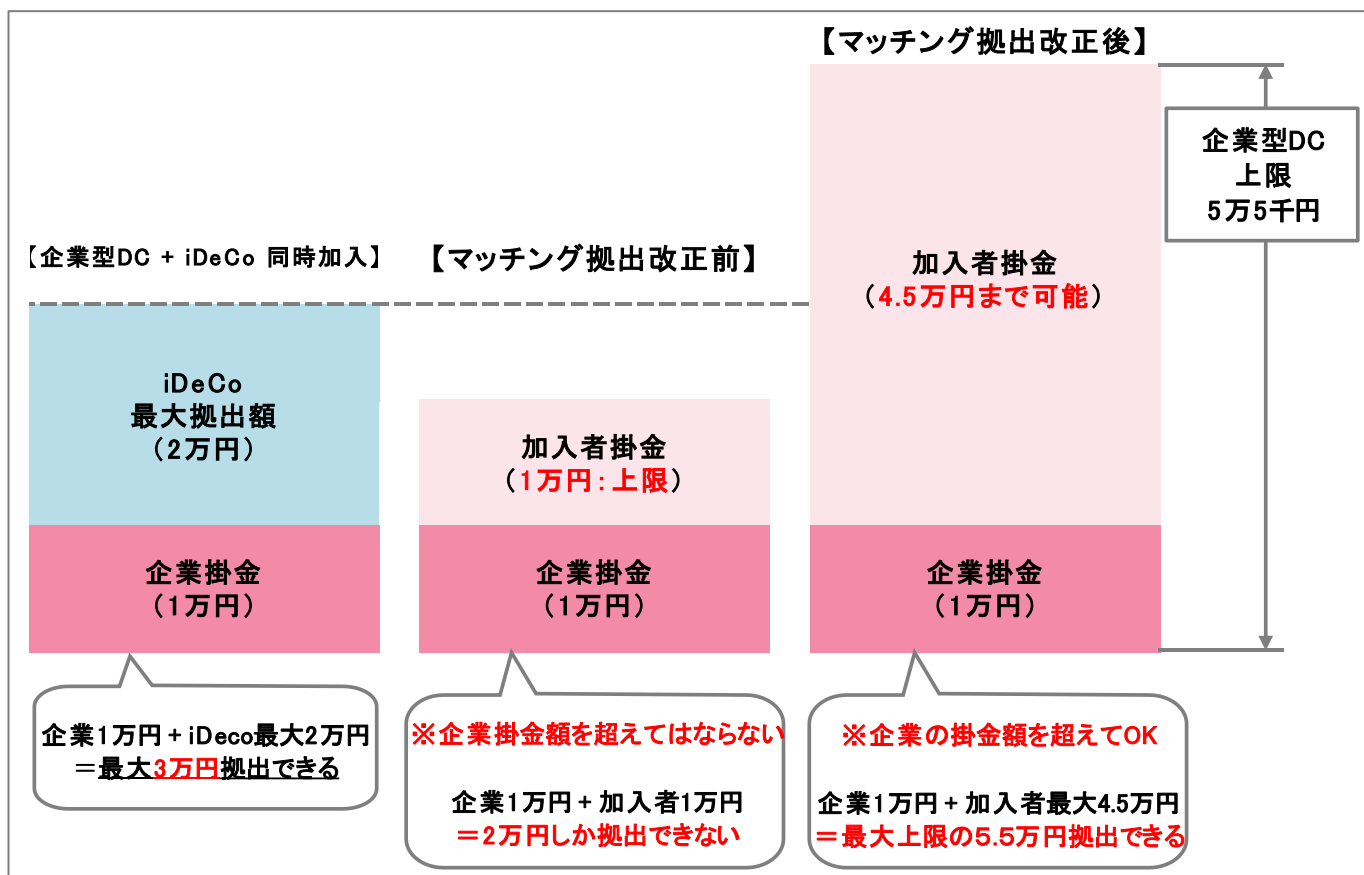


マッチング拠出と iDeCo の違いは？

企業型 DC と iDeCo は原則併用可能ですが、「マッチング拠出」をしている場合は iDeCo と併用できないため、どちらかを選択する必要があります。どちらも、掛金が全額所得控除、運用益の非課税、60 歳まで原則引き出し不可といった基本的な税制メリットや注意点は共通しています。「どちらが有利か」は一概には言えませんが、手数料や商品ラインナップ、管理のしやすさなどを比べて、自身にとって最適な選択は何かをじっくり検討してみましょう。

	マッチング拠出(企業型 DC)	企業型 DC + iDeCo 同時加入
拠出限度額 (2026年4月～)	5万5,000円 - 企業拠出額	5万5,000円 - 企業拠出額または 月2万円の小さい方
年間手数料	無料(会社全額負担)	全額自己負担(年数千円)
運用商品	会社指定の運用管理機関の商品から選択	自分で選んだ運用管理機関の商品から選択
管理方法	企業型 DC と一つの口座で管理	企業 DC と iDeCo を別の口座で管理

これまでマッチング拠出には、前述した加入者の掛金額に制限があり、企業の掛金が少ない場合、掛金を増やしたい方は iDeCo を利用するしかありませんでした。しかし、今回の改正でマッチング拠出は、拠出限度額まで自由に乗せできるようになります。拠出額を増やしたいという理由だけで iDeCo を選ぶ必要はなくなります。ただし、マッチング拠出は企業が選んだ運用管理機関を利用するため、運用商品の選択肢が iDeCo より少ない可能性があります。会社の企業型 DC に低コストの商品がそろっていれば、手数料のかからないマッチング拠出を優先し、商品ラインナップに不満がある場合は iDeCo を検討するとよいでしょう。



今回の改正でマッチング拠出は、企業の掛金を超えて拠出できるようになります。さらに 2026 年 12 月には企業型 DC、iDeCo の拠出限度額が引き上げられます。

そこで注意しなければならないことは、拠出額の設定です。マッチング拠出、iDeCo とも原則年 1 回しか金額の変更ができないため、限度額が引き上げられたからと拠出額を増やしてしまい日々の生活が苦しくなってしまうのは本末転倒です。最近、「NISA 貧乏」という言葉が話題になりましたが、企業型 DC、iDeCo は原則 60 歳まで引き出しができないためさらに注意が必要です。老後資金の準備は確かに重要ですが、生活費や教育費とバランスをとり、自身のライフプランや資金繰りを踏まえた上で、続けられる拠出額にすることが重要です。



まずは、ご自身の勤務先のマッチング拠出制度の有無や会社の掛金、商品ラインナップを確認し、勤務先の担当者に相談してみましょう。企業型 DC と iDeCo の制度を正しく理解して活用していただければと思います。

ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

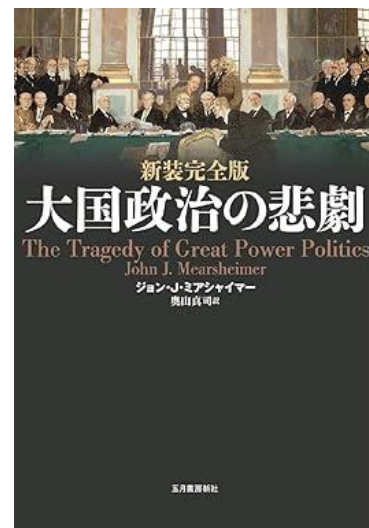
新装完全版 大国政治の悲劇 単行本 - 2019/3/31 ジョン・J・ミアシャイマー (著), 奥山 真司 (翻訳), 杉原 修 (編集)

ロシアによるウクライナ侵攻から4年が経過した2月末、米イスラエルがイランを攻撃して戦争が始まり、激しい攻撃の応酬が続いています。ホルムズ海峡が事実上閉鎖されてしまったことによって、世界経済に深刻な影響を与えています。日々情勢が変化していく中、早期の停戦、終結が望まれています。先行きは不確実で予断を許さない状況が続いています。

そのような不安定な世界情勢の中で、今月ご紹介する本は、国際政治学の第一人者であるジョン・ミアシャイマー(シカゴ大学終身教授)が、覇権争いの冷酷な現実と力の均衡、戦争の論理を鮮やかに描いた衝撃の名著です。

国家は善意では動かない。国際社会には最後に守ってくれる警察はいない。国際社会はアナーキー(無政府状態)だから大国は、生き残るために力を追求する。この不都合な現実を攻撃的リアリズムという理論で説明しています。本書は戦争を正当化しておらず、むしろ戦争が起きてしまう世界そのものを「悲劇」として描いています。

「国家はなぜ戦争を避けられないのか？」そんな疑問を誰もが抱くと思います。日本では戦争は自分には関係ないと考えてしまう人が少なくありませんが、この本を読めば決して他人事では済まされないと感じることでしょう。地政学リスクが高まり、世界が激動している今こそ、外交や安全保障について自分で考える力をつけるために一読してみたいはかがでしょうか。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落し口座変更】	【定期の引落し金額を変更】 【定期引落しを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2026年 4月分	3月5日(木)	3月25日(水)	4月6日(月)	4月14日(火)	4月16日(木)
2026年 5月分	4月3日(金)	4月21日(火)	5月7日(木)	5月15日(金)	5月19日(火)
2026年 6月分	4月30日(木)	5月27日(水)	6月8日(月)	6月16日(火)	6月18日(木)
2026年 7月分	6月4日(木)	6月24日(水)	7月6日(月)	7月14日(火)	7月16日(木)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

4月3日(金)	グッド・フライデー	ニューヨーク・ルクセンブルグ・ロンドン・アイルランド	4月6日(月)	イースター・マンデー	ルクセンブルグ・ロンドン・アイルランド
5月1日(金)	労働者の日	ルクセンブルグ	5月14日(木)	キリスト昇天祭	ルクセンブルグ
5月25日(月)	戦没者記念日/聖霊降臨祭/銀行休業日	ニューヨーク/ルクセンブルグ/ロンドン			

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.30% ± 0.15% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人資産運用業協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうファンド 第22期半期運用報告会

3月より全国で半期運用報告会を開催いたします！

ありがとうファンドはおかげさまで3月2日に第22期ファンド中間決算を迎えました。これも皆さまのご支援の賜物であると感謝申し上げます。つきましては、第22期半期運用報告会を3月より全国6都市で開催いたします！

半期運用報告会では第22期の半期運用報告と今後の見通し、運用方針について詳しくご報告させていただきます。

是非この機会にご参加頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております！

札幌

2026年3月7日(土) 13:30~15:30

かでの2. 7(北海道立道民活動振興センター)760 会議室

東京

2026年3月29日(日) 10:00~12:00

ありがとう投信本社3F

仙台

2026年4月12日(日) 13:30~15:30

仙都会館7F-C

名古屋

2026年4月18日(土) 13:30~15:30

ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 会議室1110

大阪

2026年4月25日(土) 13:30~15:30

大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター) セミナー室2

福岡

2026年4月26日(日) 13:30~15:30

アクロス福岡604



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ
URL:<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>

フリーコール:0800-888-3900

39 ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.





2026年4月吉日
ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷俊介

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」に係る 弊社の実績について(2026年3月末基準)

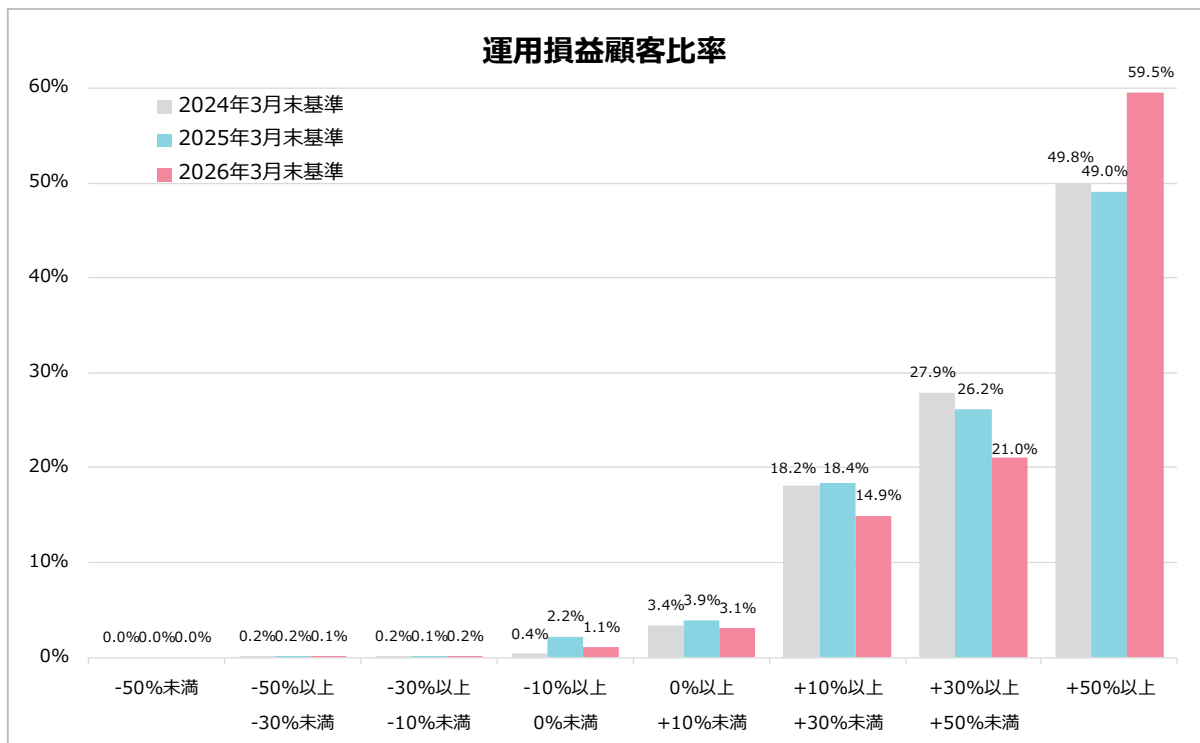
金融庁が公表を行った「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」について、弊社の実績(2026年3月末基準)をご報告申し上げます。

※共通 KPI の定義・算出方法は金融庁ホームページをご参照ください。(<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf>)

■投資信託の運用損益別顧客比率

お客様にご購入いただいたありがとうファンドの運用損益状況を損益区分ごとに公表しております。ありがとうファンドを購入されて資産運用されているお客様のうち、**98.6%の方が運用損益でプラス**となっております。2026年3月末、2025年3月末、2024年3月末の実績を併記しています。

運用損益がプラスの顧客の割合	
2026年3月末基準	98.6%
2025年3月末基準	97.4%
2024年3月末基準	99.3%



※2026年3月末時点の投信残高に対するトータルリターンで算出。2004年9月1日のありがとうファンド設定日からの2026年3月末までの全期間を対象。

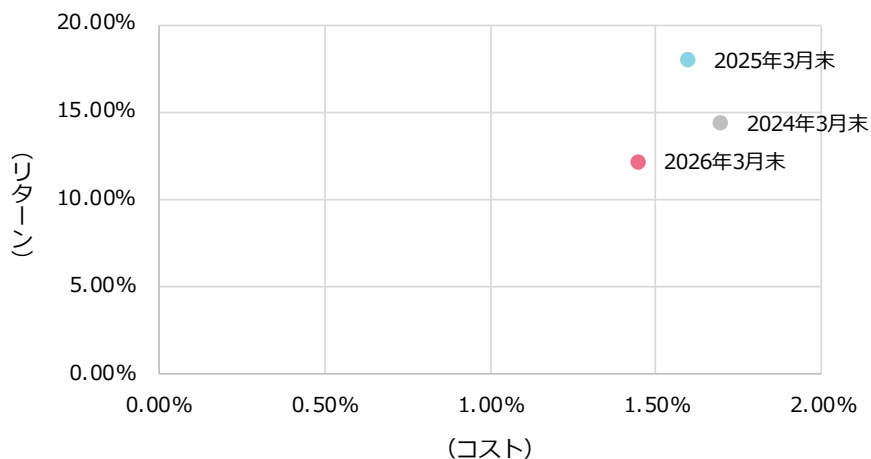
※投資信託のトータルリターン通知制度に基づくトータルリターンを基準日時点の評価金額で除して算出した各損益率の分布。対象のお客様全体を100%として、それぞれの運用損益に該当する顧客数比率をグラフ化。

■投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

お客様にご購入いただいたありがとうございますファンドのコストに対するリターンおよびリスクに対するリターンを公表しております。(弊社はありがとうファンド 1 本のみのため残高加重平均値は同一の値となります)

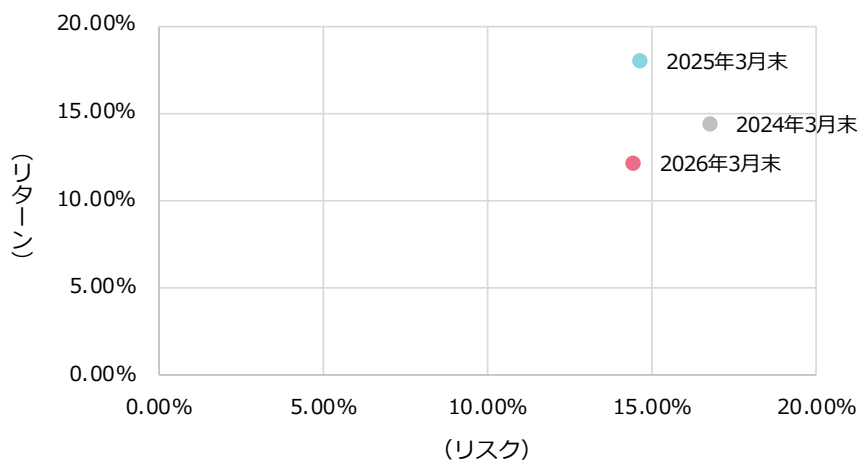
(参考)コスト・リターン/リスク・リターンの実績推移

コスト・リターン



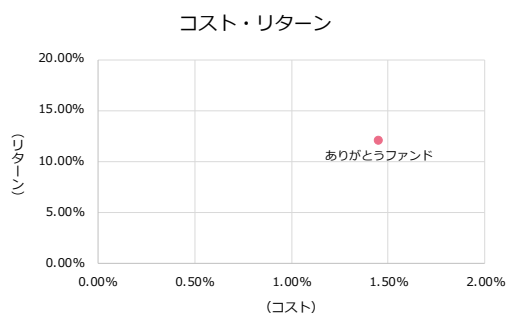
	コスト	リターン
2026年3月末	1.45%	12.09%
2025年3月末	1.60%	17.87%
2024年3月末	1.70%	14.28%

リスク・リターン

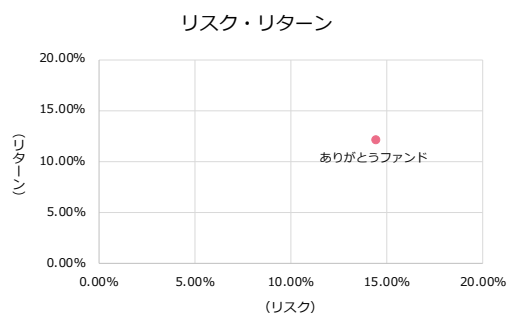


	リスク	リターン
2026年3月末	14.51%	12.09%
2025年3月末	14.71%	17.87%
2024年3月末	16.83%	14.28%

【2026年3月末】

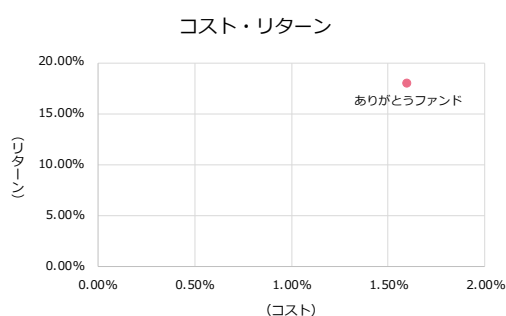


銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.45%	12.09%
残高加重平均値	1.45%	12.09%

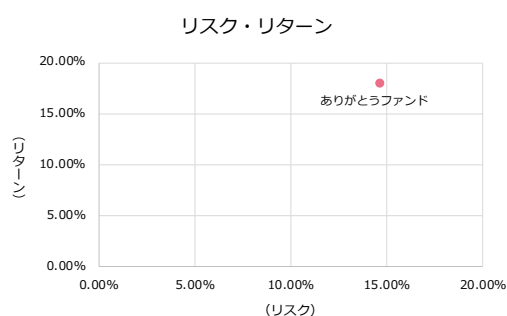


銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	14.51%	12.09%
残高加重平均値	14.51%	12.09%

【2025年3月末】

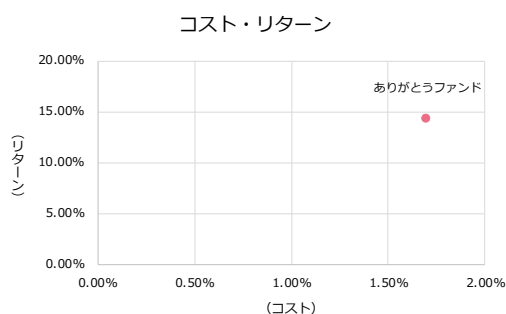


銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.60%	17.87%
残高加重平均値	1.60%	17.87%

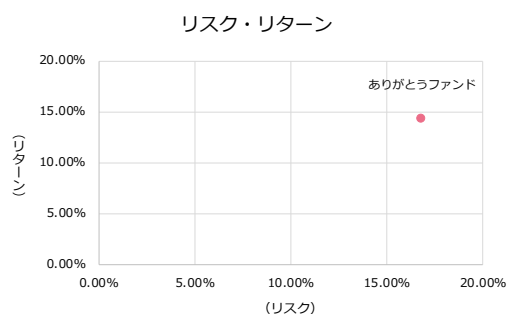


銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	14.71%	17.87%
残高加重平均値	14.71%	17.87%

【2024年3月末】



銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.70%	14.28%
残高加重平均値	1.70%	14.28%



銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	16.83%	14.28%
残高加重平均値	16.83%	14.28%

※リターン:過去5年間の年率リターン(年率換算)

※リスク:過去5年間の年率リスク(年率換算)

※コスト:目論見書に書かれている実質的な信託報酬率の上限値としております。販売手数料はかかりません。

<本件に関するお問合せ>

ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部

フリーコール:0800-888-3900 (9:30-17:00 土日祝・年末年始を除く)